IX 協働・普及啓発

<主要施策の取組状況>

- 1 丹沢大山自然再生委員会を通じた連携
- ① 自然再生プロジェクトの推進
 - ・ 水源かん養機能など公益的機能の向上及び鳥類等の生息環境改善を目的とした人工 林の混交林化に向けて、間伐や植生保護柵の設置を予定していたが、天候の影響によ り活動を翌年度に見送った。

② 重点団体等との協働による丹沢再生の普及啓発

・ 丹沢大山の自然再生の取組の普及啓発を図るため、丹沢大山自然再生委員会(以下「再生委員会」という)の一員として、「地球環境イベント・かながわエコ 10 フェスタ 2016」や「ワールドフェスタ・ヨコハマ 2016」、「丹沢大山自然再生活動報告会」に参加するとともに、再生委員会と各団体との共催による「森林探訪」などの活動を支援した。

○主な普及啓発活動

2.5 d // d // d // d				
活動名称	日時・場所	内容	来場者数	
地球環境イベントかながわエコ10フェスタ	H28.5.28~29 県庁前・日本大通り (横浜市)	会員団体5団体と連携して一般県民に 丹沢大山の自然再生をPR	1,000名 (推計)	
ワールドフェスタ・	H28. 10. 8∼9	会員団体6団体と連携して一般県民に	500 名	
ヨコハマ 2016	山下公園(横浜市)	丹沢大山の自然再生を PR	(推計)	
丹沢大山自然再生活 動報告会	H28. 10. 29 厚木市商工会議所(厚 木市)	会員団体の自然再生の活動を報告し、 意見交換を行った。	109名	
丹沢フォーラム	H28.12.3 丹沢県有林・一ノ沢 考証林 (清川村)	モミ林の天然林の特徴等について、自 然環境保全センター職員を派遣し、一 般県民にわかりやすく説明を行った。	55 名	
森林探訪 「大山の自然を観 察」	H28. 10. 15 大山(伊勢原市)	大山登山を行い、山頂付近での県の自 然再生事業の取組について学んだ。	48 名	

③ FS学校教育との連携等による環境学習の推進

・ 環境学習を推進するため、高校生の登山道補修体験活動及び小学生から中学生を対象とした「森の学校」などに参加・協力した。

O環境学習の推進活動

活動名称	日時・場所	内容	来場者数
~高校生が取り組む!~ 丹沢やまみち再生体験	H29. 1. 29 大倉尾根 (秦野市)	県内4校の登山部の高校生が丹沢の自 然環境を学びながら登山道補修等の体 験活動を行った。	48名
森の学校	夏: H28. 8. 14~16 冬: H28. 12. 27~29 春: H29. 3. 27~29	子ども達が自然の中で生活し、人間と 丹沢の自然環境の関わりを学んだ。	夏:49名 冬:45名 春:30名

④ 自然再生委員会ホームページ等による情報提供・広報

・ かながわパークレンジャーからの自然情報や自然再生の取組に関する情報提供を行った。

2 県民協働の枠組みを通じた連携

- ⑤ 丹沢大山クリーンピア 21_{※1}、丹沢の緑を育む集い_{※2}、丹沢大山ボランティアネットワーク等による連携・協力
 - ・ 活動団体との連携・協力を図るため、丹沢大山クリーンピア 21 による丹沢大山ク リーンキャンペーンや、緑を育む集いによる植樹活動等に参加・協力した。

※ 1	丹沢大山クリーンピア21	丹沢大山地域周辺の良好な自然環境の保全に寄与するため、ゴミの 持ち帰り運動を推進することを目的として、企業・各種団体及び行 政機関等の協力のもと設立された。
2	丹沢の緑を育む集い	丹沢大山地域で植樹事業やウラジロモミ等をシカの影響から守るための防護ネット設置事業などをボランティアとの協働で行っている 各種団体及び行政機関で構成されている。

3 丹沢大山自然再生の順応的実施と協働・普及啓発の拠点づくり

- ⑥ 神奈川県自然環境保全センターの充実と自然再生活動への活用
 - ・ 自然環境保全センター(以下「保全センター」という)の野外施設等を体験実習フィールドとして位置付け、観察会や指導者向けの研修会を実施した。

⑦ 神奈川県立ビジターセンターの充実と自然再生活動への活用(WII-3-8)

・ 2箇所のビジターセンター(秦野・西丹沢ビジターセンター)において、自然再生等に関する展示や自然教室等を実施し、自然再生に関する普及啓発を促進した。

名称	開催日時	内 容
西丹沢ビジターセンター (山北町中川)	H28. 7. 28∼9. 28	登山道の集中利用による土壌流出対策のための 階段設置に関する展示
秦野ビジターセンター (秦野市堀山下)	H28. 10. 8~12. 11	

4 自然環境・自然再生情報の蓄積と発信・活用

- ⑧ 自然再生情報の提供と丹沢自然環境情報ステーション(e-Tanzawa) の機能拡充と活用
 - ・ 丹沢自然環境情報ステーション (e-Tanzawa) を活用し、自然再生に関する普及啓発を促進した。

○かながわエコ 10 フェスタ 2016 へのブース出展 ○丹沢大山自然再生活動報告会の様子



(再生委員会主催) [厚木市]



○高校生による登山道補修体験活動の様子 [秦野市 大倉尾根登山道]



○丹沢大山クリーンピア 21 による クリーンキャンペーンの実施状況



○事業実施位置図(位置情報のある事業のみ掲載)

